



遣伯使見聞録



Se dae bem (仲良くしましょう)

10月7日に、パラナバイ市に入りました。パラナバイ市は豊橋と友好提携を結んでいる街です。パラナバイ市と豊橋市との友好提携について紹介します。

パラナバイ市の概要

人口	約 90,000 人
面積	1,202 km ²
位置	パラナ州の北西部 (サンパウロから西へ 600 km)
産業	農業 (オレンジ、マンジオッカ (芋類)、サトウキビ)、牧畜
学校	市立小学校 (1~5 年生) 19 校、 他に私立学校、州立中学高校、幼稚園等



左：教育局長 右：パラナバイ市長

【友好提携の経緯と内容】

○平成 20 年 (2008 年)、早川前市長と加藤前教育長がブラジルに渡り、パラナバイ市のヤマカワ元市長と「教育提携」を結ぶ。

○ブラジル人教職員の受入 (平成 19 年～現在)

日本の教育制度に対する理解を深め、ブラジル国籍児童生徒の教育相談など学校と保護者のパイプ役となってもらうことを目的に、ブラジルの教育関係者を本市教育委員会に研修員として 6 か月間受入れる。

○豊橋市教職員の派遣 (平成 22 年～現在)

本市とパラナ州間の教育交流を促進し、双方の教育環境の向上を図ることを目的に、本市職員をパラナ州教育委員会に 3 か月間派遣する。



平成 22 年度派遣の池崎元校長先生

パラナバイ市では 19 校の市立小学校に 2 回ずつ学校訪問をします。作品交流をしている豊橋の小学校からの作品を届け、校長先生とお話をしたり、2 回目には授業も行ったりする予定です。学校訪問の様子を順にお伝えします。

① 10月7日(月) JOSE VAZ 学校訪問(二部制) ⇔ 下地小学校

シーレルレイ校長(3年目)

- 児童数 340 人 (特別支援 4人)
- 教員数 19人
- 学級数 13学級
- IDEB 6.6

【校長先生の話】

豊川横断水泳は素晴らしい活動ですね。この地域は貧しい家庭が多く、教育への関心が低い。保護者にはイベント以外にもっと学校に来てほしい。教員には「子どもたちを大切にしましょう」と話している。一週間に 6 時間、教員が勉強 (教材研究など) をする時間と場所が確保している。



★子どもたちはとても素直で元気がありました。狭いコンクリートの校庭を走り回れるけれど、なぜかほとんどけがはしないらしいです。日本から帰国した男の子がいました。

※IDEB：全国統一テストの点数 (5 年生対象、国語と算数の点数・留年率・出席率を点数化、10 点満点)

かっこいい・ね! ~ナッツコラム~

日本にいた時から思ったんだけど、ブラジル人の会話を聞いていると「▼※★\$@…ね」「◆♪€☞√…ね」って、文の最後に「ね!」が入っている。ナッツもそれに気づいて、通訳さんに聞いてみたんだ。すると、文の終わりに「não É (=ノン エ ニ ネ)」と言うことがあって、「~だよね」という意味らしい。「そうだよね」と相づちを打つ言葉は、ポルトガル語も日本語も同じだった・ね。

パラナバイ市の市長室に入ったときに、ナッツは驚いた。だって、市長さんは筋肉ムキムキ、帽子に T シャツ、そして右腕はすべてタトゥー…。年齢は 34 歳。市政に豊橋の 530 運動を取り入れたたり、環境問題に取り組んだり、何ととっても教育に多くの予算をかけてくれている。かっこいいな~って思った・ね。(ナッツの腕時計より)

